

安心して暮らせるまちづくりを 行政と一緒に

昨年11月から12月にかけて、県内10市の首長・副首長にご出席いただき、生協組合員と行政との懇談会が開催されました。(宇部市は1月14日、山口市は1月21日を予定、長門市は開催日程調整中)。

この懇談会は26年目となり、首長と住民(生協組合員)が「くらしをよくするためのテーマ」を話し合い、お互いの理解をすすめながら、行政との協同活動や住民の声を反映させた住みよい街づくりにつながることをめざしています。

岩国 テーマ 子育て支援・快適に暮らせる町に

子どもの発達の事で悩んだり困ったりした時の岩国市の支援についてお伺いしました。市長から発達障害だけでなく、岩国市に住む全ての人がお互いの多様性を認め合い、幸せに暮らせる街にしていきたいというお考えを聞く事ができました。また、新しく建設される道路は、救急や災害時の際にも役立つというお話も聞け、有事の際の備えとして安心感が高まりました。これからも、住みよい街作りのためにお互いに出ることをしていきたいなと思いました。



▲福田良彦 岩国市長(前列中央)と。(11/10)

柳井 テーマ 子育て世代における地域の居場所づくり

柳井市とは地域活性化包括連携協定を締結したばかりで、協働できる事をさらに具体的にしていくことをテーマに意見交換をさせていただきました。市長より、子どもとのふれあいと環境教育を目的とした平郡島での海岸漂着ゴミ回収のお話を伺いました。生協からは、市の施設の改善要望や柳井商業高等学校跡地の活用事業への期待をお伝えしました。子育て支援プレゼント企画やコープ共済デザインの母子手帳のカバー採用にも快諾していただきました。



▲井原健太郎 柳井市長(前列右から2番目)と。(11/24)

●様々なテーマで「協同」をめざして

これまで懇談会を継続してきた中で、平和活動では県内全市町の平和首長会議加盟につながったり、マイバッグ持参運動などの環境活動や消費者問題等、消費者運動をすすめる生協への理解にもつながっています。

2016年には山口県・県内すべての市町と、高齢者を中心とした「地域見守り協定」、災害時にすみやかに物資供給を支援する「災害時物資協定」の調印が締結されました。2021年には周南市・柳

井市と地域の活性化やサービスの向上に向けた地域活性化包括連携協定を締結。また、子育て支援や食育・防災など、様々な分野での懇談会を通じて、安心して暮らし続けられる地域づくりへの思いを共有してきました。

今回の懇談会では、それぞれの市でテーマを設けて話し合いが行われ、参加した組合員さんから報告をいただきました。(掲載は開催順。氏名は開催当日のものです。)

下関 テーマ 環境について

ごみ出しのマナーやプラスチックごみをテーマに、組合員が環境ニュース「身近なごみのこと考えてみよう」を発行したことをご紹介しました。ごみはきちんと分別されないと、仕分けなどに余計な経費がかかることを市長からお聞きし、ごみの分別について家庭でできることや、ルールの徹底について話が盛り上がりしました。これからも行政とのつながりを大切にしていきたいと思いました。



▲前田晋太郎 下関市長(右から3番目)と。(11/25)

光 テーマ 子育て世代における地域の居場所づくり

2005年から「おっぱい都市宣言」として、市民が必要とする相談窓口や事業が充実していることが理解できました。母子手帳と一緒に配布される情報誌「チャイベビ」について多くの意見交換ができ、私たちの疑問にも答えて頂きました。光市で子どもを産み育てたいと思う市民が増え、今より街が発展していくためにも、生協の事業や組合員活動を通して、くらしやすい街づくりにお手伝いができるよう活動を進めていきたいと思えます。



▲吉本英夫 光市副市長(前列中央)と。(11/26)

防府 テーマ 子育て支援について

防府市独自の子ども・子育て支援「ほうふっ子応援パッケージ」の取り組みや、いち早く子どもたちの学習にICT環境を整えられたお話などをお聞きしました。妊娠前から出産、子育てまで、子どもの健やかな成長のための切れ目ない支援は、防府市で安心して子どもを産み育てられる環境がしっかりサポートされていると感じました。今後、行政と生協の事業や組合員活動と一緒に取り組めることを協議しつながりを深め、より住みやすいまちづくりを進めていきたいと思いました。



▲池田豊 防府市長(中央)と。(11/26)

山陽小野田 テーマ 防災

コープの防災に関する取り組みとして、防災学習会の開催や防災アドバイザーの新設、防災コラムの開始等の活動を紹介しました。市からは、防災について学習できる出前講座や緊急情報を入手する方法、大雨時の水害に対する対策等をお話しいただきました。また、コロナ禍での避難所の対策についても詳しく教えていただき、安心して避難できる環境であることを確認しました。市民の皆さんの防災意識向上のため一緒に取り組んでいきたいと思えます。



▲藤田剛二 山陽小野田市長(前列右から2番目)と。(12/13)

萩 テーマ まちづくりを一緒に

地域での食育や子育て支援で始まり、行政や様々な関係機関との連携の必要性や可能性についてお話ししました。活発に意見交換が行われ、市の関係各課とコープやまぐちとが連携協働していくために思いを共有することができました。田中市長からは、「市民のくらしの豊かさの実現のためにしっかりと連携していきたい」と、嬉しいお言葉をいただき、とても充実した懇談会になりました。



▲田中文夫 萩市長(前列中央)と。(12/15)

美祿 テーマ 安心して暮らし続けられるまちづくり

お買い物支援や見守り、防災について意見交換を行いました。コープの様々なお買い物の方法や防災の取り組みについて紹介しました。市からは、10月から始まった「防災行政アプリ」の登録状況や防災情報を音声と文字で確認ができること、災害以外の暮らしに役立つ情報なども確認できることなど内容についてもお話しいただきました。1人でも多くの方に登録していただけるようお知らせをしていこうと思えます。



▲波佐間敏 美祿市副市長(前列右から2番目)と。(12/17)

下松 テーマ 防災

「逃げ遅れゼロ」をめざして福祉との連携を強めるなど、行政が積極的に進められる取り組みをお聞きしました。周南地域組織委員会主催の防災学習会は大切な取り組みであり更に広げていきたいこと、災害時は公助に頼るだけでなく、自助、共助が非常に重要であることを共有しました。また市民が安心して避難できる避難所を運営できるように、地域に幅広い年齢、性別のリーダーが生まれてほしいということに共感しました。



▲国井益雄 下松市長(前列中央)と。(12/20)

周南 テーマ 地域活性化包括連携協定のその後

昨年7月に周南市とコープやまぐちの間で地域活性化包括連携協定が締結されました。懇談会ではその進捗状況とこれから連携して進めていきたいことについて交流しました。しゅうなんブランド認定品はことでも販売されており、中でも「昔ながらのボン菓子」は人気商品です。おたがいさま周南に登録している多胎児家庭子育て支援事業の事例や、主に高齢者を対象に買い物・ゴミ出しなどを支援している事例を紹介し、取り組みに対して市長より感謝のお言葉をいただきました。



▲藤井律子 周南市長(左から3番目)と。(12/21)

くらしを支える協定

行政と相互に連携することにより、それぞれの資源を有効に活用した協同による活動を推進し、地域の活性化及び、市民サービスの向上を図ることを目的とした「地域活性化包括連携協定」。今年度は、2021年7月21日に周南市と、2021年11月5日に柳井市と締結式が行われました。周南市とは、「しゅうなんブランド認定品」の販売の連携に取り組み、地産地消、地元生産者を応援することに取り組みます。また、柳井市とは子育て支援を強化するなど、これまで行ってきた連携や生活サービスについても充実させていきます。

これまで地域活性化包括連携協定を締結した市町

宇部市	2018年12月	周防大島町	2020年11月
山口市	2020年 1月	周南市	2021年 7月
萩市	2020年11月	柳井市	2021年11月

柳井市と生活協同組合コープやまぐちとの地域活性化に関する包括連携協定締結式



周南市・生活協同組合コープやまぐち地域活性化包括連携に関する協定締結式



▲締結式の様子